備考１　本表は、仮設ロープにより施工する歩掛とする。
２　本歩掛には、種子吹付機械、発動発電機等の据付・撤去及び材料の現場内小運搬を含む。
３　クレーン装置付トラックは賃料とする。
４　普通トラックは特殊作業員が運転することとする。
５　諸雑費は、発動発電機１０ＫＶＡ運転費（ハンマドリル動力源）、発動発電機４５ＫＶＡ運転費（種子吹付機械動力源）、ハンマドリル損料、揚水ポンプ損料、仮設ロープ損料等の費用として、労務費、機械運転費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
６　注入材料については、別途計上するものとし、材料ロス（注入時及び混合時の損失）は８％とする。

３　加算率・補正係数

(1) 加算率・補正係数の適用基準

規格・仕様		適　用　基　準	記号	備　考
加算率	施　工　規　模	標　準	S_0	全体数量
		１工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S_1 S_2 S_3 S_4	
補正係数	法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	客土注入マット工法において、法面の垂直高が45m超え80m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する（注入用ホース延長：80m以下（※1））。	K_1	全体数量
	法面の垂直高が80m超えの場合	客土注入マット工法において、法面の垂直高が80m超えの場合、対象となる規格・仕様については係数で補正する（※2）。	K_2	全体数量

（※1）法面の垂直高が80m以下の場合でも、注入用ホース延長について、この基準を超える場合は別途考慮する。
（※2）注入用ホース延長については基準を超えるため、別途考慮する。

(2) 加算率・補正係数の数値

加　算　率					補　正　係　数	
施　工　規　模					法面垂直高45m超え80m以下の場合	法面垂直高80m超えの場合
S_0	S_1	S_2	S_3	S_4	K_1	K_2
1,000㎡以上	500㎡以上～1,000㎡未満 ~~5~~10%	250㎡以上～500㎡未満 ~~10~~15%	100㎡以上～250㎡未満 25%	~~250~~100㎡未満 ~~20~~50%	1.10	1.20